

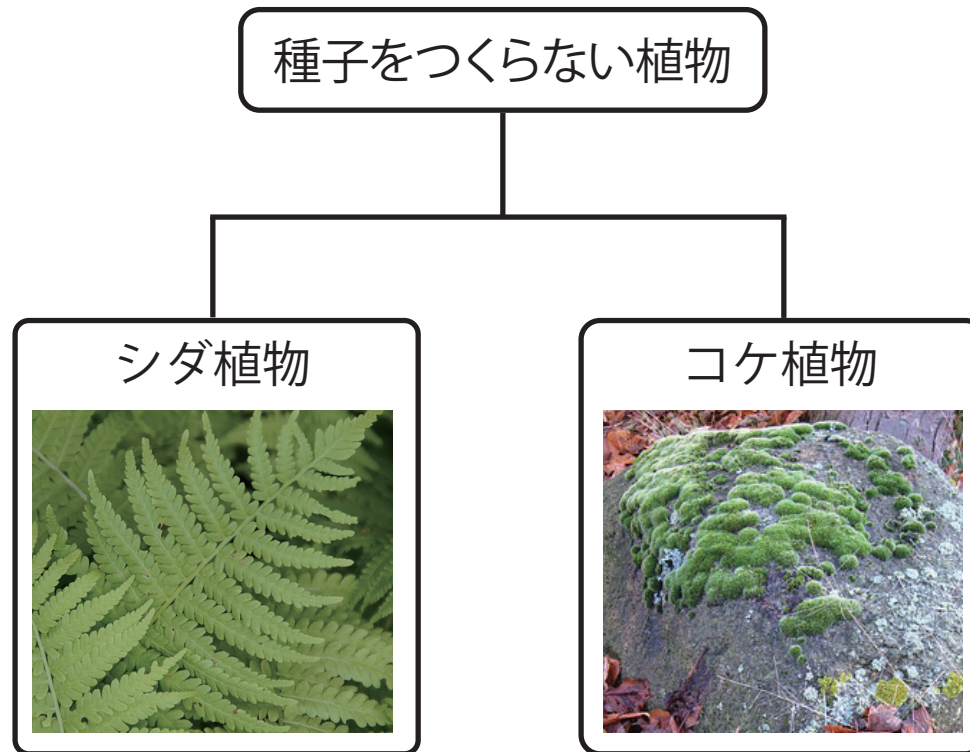
講師：山崎 翔平

<学習内容>

- ▶植物の系統図
- ▶種子をつくらない植物
- ▶シダ植物
- ▶コケ植物

植物の系統図

植物の種類を以下の系統図で確認しよう。
本日は下記の分類を説明します。



種子をつくらない植物

■種子をつくらない植物

種子をつくらない植物は、種子ではなく**孢子**でふえる。

⇒種子植物と同様に**光合成**をおこなう。(シダ植物・コケ植物)

【シダ植物】

シダ植物には**根・茎・葉の区別**や**維管束**がある。

⇒**茎**は**地下茎**と呼ばれ、地中にある。

※地上に出ている茎みたいなものは葉の柄である。



▲ワラビ

シダ植物

■シダ植物と孢子

シダ植物の**孢子**は**孢子のう**の中に入っている。(図1)

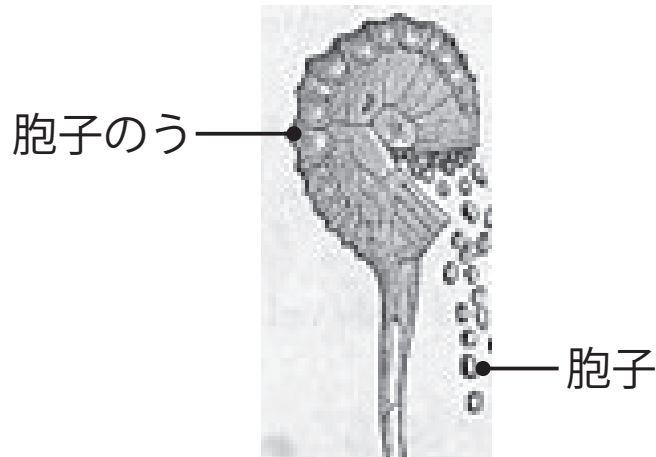
⇒孢子のうは、(図2)のように葉の裏側にいくつもある。

孢子が落下して発芽すると(図3)の**前葉体**になる。

前葉体で**卵**と**精子**がつくられ、**受精**する。

※受精後、前スライドのワラビのように成長する。

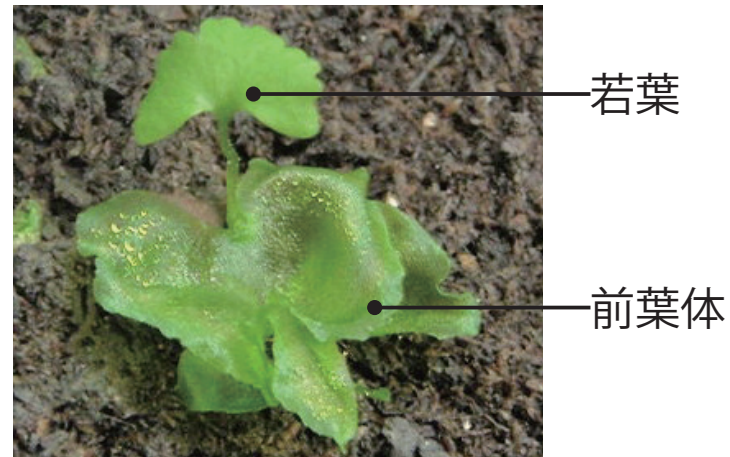
(図1)



(図2)



(図3)



コケ植物 ①

【コケ植物】

根・茎・葉の区別が無く、維管束も無いのが特徴であるが、光合成はできる。

⇒コケは^{かこん}仮根でからだを固定している。

※仮根は根のように見えるが、からだを固定させるために変形したからだの一部である。

※水分などは、からだの表面全体から直接吸収している。



▲ミカツキゼニゴケ



▲ムラサキヒシャクゴケ

コケ植物 ②

■コケ植物の特徴

コケ植物も**孢子**でふえるが、コケには**雌株**と**雄株**がある。

⇒**雌株**に**孢子のう**ができ、そこで孢子がつくられる。

【補足】

孢子は乾燥に弱いため、シダ植物やコケ植物などは日かげや湿った場所で主に生息している。

※乾燥に強いコケは日当たりの良い所に生える。(エゾスナゴケなど)

覚えて欲しいシダ植物・コケ植物

○シダ植物

イヌワラビ・スギナ・ゼンマイ

〈ゴロで覚えよう!〉

舌嚙んだ, 犬好きな先輩

○コケ植物

ゼニゴケ・スギゴケ

まとめ

	光合成	根・茎・葉の区別	維管束
シダ植物	○	○	○
コケ植物	○	×	×

シダ植物

前葉体で卵と精子が作られ、受精する。

コケ植物

雌株と雄株があり、雌株に胞子のうができ、胞子をつくる。

基本問題

次の問いに答えなさい。

- (1) コケ植物がからだを固定するために変形したからだの一部を何とよぶか答えなさい。
- (2) コケ植物は何でふえるか答えなさい。

(1) 仮根

(2) 孢子

四択問題

コケ植物について述べている文のうち誤っているものを次のア～エから1つ選びなさい。

- ア. 根・茎・葉の区別が無く、維管束も無い。
- イ. 水分をからだの表面全体から直接吸収している。
- ウ. 光合成をすることができない唯一の植物である。
- エ. 雌株と雄株がある。

ウ